

政策評価シート(令和4年度実績評価)

◎政策の基本情報

政策No	0204	政策名	日常生活の安全確保	政策主管課	市民生活総合相談センター	課長名	坊澤 尚行
政策の目指す姿		安全・安心な日常生活を送っています					
政策の方針							
市民が日常生活を安全に安心して送るためには、悩みや問題の解決に向けた支援や地域と連携した安全確保の取り組みが必要です。そのために、市民の生活相談に的確に対応できる体制を充実させるとともに、地域と連携した防犯活動や交通安全活動を推進します。							

1 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
消費者トラブル相談件数	消費者トラブル被害の状況を示す指標。減少を目指します。	出典：市民生活総合相談センター相談業務実績表における消費生活相談件数（悪質商法等消費者契約、貸借契約問題、サラ金・多重債務、金銭貸借）を集計。	件	目標値	756.00	750.00	750.00	750.00	750.00	
				実績値	800.00	797.00	840.00	951.00		
侵入窃盗件数	侵入窃盗被害の状況を示す指標（暦年）	岩手県警察本部統計資料	件	目標値	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	
				実績値	12.00	21.00	12.00	41.00		
交通事故負傷者数	交通事故（人身事故）被害者の状況を示す指標（暦年）	岩手県警察本部及び花巻警察署の統計数値	人	目標値	189.00	186.00	183.00	180.00	177.00	
				実績値	206.00	180.00	162.00	148.00		

2 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやタブレットの普及により、通信販売での商品購入等が簡単に便利に行える環境になり、またコロナ禍により非対面の通信販売の利用が増加したことにより、消費者トラブルも後を絶たず、消費生活相談件数は増加している。 侵入窃盗被害は県内全体では減少傾向であるが、侵入窃盗犯罪認知件数は1人の犯人から複数の余罪が芋づる式に発覚し件数にカウントされることもあるため、捜査の進捗により件数の増加になることがあるとのこと。 交通事故（人身）件数は毎年減少しており、交通指導員による街頭指導や児童生徒を対象にした交通安全教室などの交通安全啓発の継続した活動により市民の交通安全意識が高められたものと思われる。

3 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
C④	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活におけるトラブルの未然防止及び解決支援、犯罪の抑止と被害の防止、交通安全の意識向上と事故の防止の3つの分野は課題が異なり、それぞれの成果指標を一括りで評価することは難しいところであるが、治安情勢や社会情勢を踏まえ暮らしに直結する消費、防犯、交通の分野の課題について、市民一人ひとりが自身の財産や身を守る意識を高めていただくことが重要で、そのためにも治安情報や被害防止対策などについて積極的かつ効果的な周知広報活動に取り組む必要がある。 通信販売での購入が増えるとともに消費トラブル相談も増えていることから、冷静かつ適切な消費行動ができるよう消費者教育の重要性が言われており、さらなる注意喚起や周知啓発活動が必要である。 市内の刑法犯認知件数は令和4年は244件で前年比23件増に転じており、侵入窃盗で被害のあった住宅のうち約85%が無施錠であったことから、市民の防犯に対する意識を高め、自ら被害防止対策に努めることなどの啓発活動の継続が必要である。 当市の交通事故（人身）件数及び負傷者数は毎年減少傾向にある一方、物損事故は増加傾向にあることから、すべての市民が交通事故の危険性を認識し、日ごろから交通ルールの遵守と交通マナーの実践に心がけて行動できるよう、交通安全教室などの交通安全教育のほか街頭指導や啓発活動等の継続した取組が必要である。

4 政策に対する各施策の達成度

No	施策名	成果指標名	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06	
1	生活相談の充実	消費者トラブルに遭わないように注意している市民の割合	%	目標値	54.50	58.50	59.00	59.50	60.00		
				実績値	58.60	42.20	42.60	45.20			
		目標値									
		実績値									
2	防犯活動の推進	外出時に施錠している市民の割合	%	目標値	86.00	86.00	86.00	86.00	86.00		
				実績値	84.60	83.70	87.40	86.10			
		目標値									
		実績値									
3	交通安全の推進	交通安全コンクール「チャレンジ100」参加者数	人	目標値		2,650.00	2,650.00	2,650.00	2,650.00		
				実績値		2,659.00	2,724.00	2,737.00			
		交通事故（人身）件数（暦年）	件	目標値		168.00	165.00	162.00	160.00		
				実績値		150.00	132.00	125.00			
		高齢ドライバー事故（人身）率（暦年）	%	目標値		29.00	28.00	27.00	25.00		
				実績値		28.00	28.80	36.80			

5 政策を構成する施策一覧

1	施策名	生活相談の充実			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		A	D	D	D
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当市において増加傾向にある消費者トラブルについて、その事例などを市民が学ぶ機会を得て、トラブルに巻き込まれないための注意意識を高める必要がある。 ・ 多様化複雑化する消費者契約問題に対応するため、消費生活相談員のスキルの向上が必要。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悪質商法や特殊詐欺などによる消費者トラブル、消費者被害を防ぐため、警察署や市防犯協会などより一層の連携を図り、出前講座を継続するほか、中高学校生徒などの若い世代の消費教育の場を設けるなど教育機関等との連携を深め、より効果的な注意喚起や啓発活動に取り組む。 ・ 国民生活センター、県民生活センターからの消費者問題にかかる最新の動向や情報を得るとともに、消費生活相談員の各種研修を通じて消費者問題対策の知識及び支援スキルのさらなる向上を図る。 			

2	施策名	防犯活動の推進			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		B	B	A	A
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻市においては、令和4年中の犯罪認知件数が246件であり前年比25件増加した。特に住宅対象侵入窃盗は27件で前年比21件の増、自転車盗は32件で前年比18件の増となり、被害の9割近くが無施錠であった。防犯対策として施錠の習慣化がいかに重要であるかが明白となった。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻市防犯協会の活動における3つの重点項目を前年に引き続き①特殊詐欺被害防止に向けての啓発活動、②鍵かけ徹底等の犯罪抑止活動、③子どもと女性の安全確保を掲げ、鍵かけの徹底については、あらゆる機会を捉え無施錠による犯罪リスクについて周知を行い、加えて、「在宅時においても家の鍵かけの徹底」習慣化についての啓発活動に取り組む。 			

3	施策名	交通安全の推進			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		D	A	B	C
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻市におけるすべての交通事故のうち高齢者が関わっている割合は、令和2年45.3%、令和3年43.2%、令和4年44.8%とほぼ横ばいで依然として高い状況にある。 ・ 花巻市交通指導員は、市における交通安全の保持のため必要な指導及び交通安全思想の普及に努めるために市長が委嘱しているが、指導員の高齢化などで退任し人員が減少、担い手確保が課題になっている。交通指導員の街頭指導活動や教育活動などの任務の負担軽減のため平成30年度に交通安全専門員、令和2年度には専任交通指導員を当センターに配置し交通指導員の任務のオペレーションをしているところであるが、引き続き担い手の確保に向けて負担軽減について検討が必要。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の交通安全対策として俊敏性や認知反応を測定する機材を活用した交通安全教室の開催、高齢者免許返納支援事業を継続して推進する。 ・ 子どもや高校生の交通安全意識を高めるため、学校や学童クラブ、PTA等と連携して交通安全啓発活動に取り組む。 ・ 交通指導員の役割や活動状況について紹介する機会を創出して認知度の向上を図るとともに、業務の負担軽減等について交通指導員から意見聴取するなど、交通指導員の担い手確保に向けた対策に取り組む。 			